

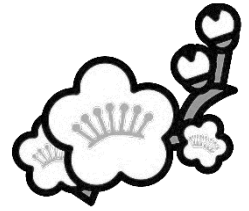


全国ひきこもり KHJ 親の会山梨支部

山梨県 桃の会

会報第5号

2015年2月発行



●篠原会長より

一年の中で一番寒い大寒の前日にもかかわらず、1月例会には50人近い方々にお集まり頂きました。月例会も5回目を迎えました。会を重ねる毎に親のニーズも変化してまいります。親同士の共感・共有はしっかりベースに保ちながら、一人一人の心に届けられるものは何かを絶えず考えながら進めてまいりたいと思います。ある元当事者の方が言われました。「自分は正しい引きこもりであった…」と。家や親は唯一安心できる所でそこで安心して引きこもれた。それが彼の中にエネルギーを蓄え外に向かう時期を迎えたのです。引きこもりはただ無駄な時間を費やしているわけではないんです…ね。

桃の会が多くの人々の安心基地となりますように！これからもご協力宜しくお願ひ致します。
(会長 篠原博子)

●1月例会が開かれました。

<藤江幹子先生の講演>



藤江幹子先生

「対人恐怖・対人緊張・こだわり」がテーマ。過去に傷ついた体験が本人の緊張やこだわりとなり、人の目を気にして心身ともに疲れている。安心できる家庭の環境づくりや、親が本人の立場を認め親自身も考え方を变えることが大事。巣立ちの日がくることを願う。

<後半のグループでの話し合い>

「親亡き後の生活が心配だ」「どういうきっかけで立ち直ったか、経験者から話を聞きたい」という声がありました。
(レポート 清水浩保さん)

1月例会に出席された親御さんの言葉（アンケートより）

スタッフの方や講師の先生が言われた共感することの大切さがピンポイントでわかり、とてもいい雰囲気の会でした。精神的にも安定感を得られ、明日へのエネルギーを頂きました。冒頭の挨拶で、会長さんもスタッフも引きこもりの保護者ですが先頭に立って運営をしてくださっている事へ心より感謝をします。今は余裕がないのですが、いつかお返しをしたいと思います。ありがとうございました。
(会報への掲載許可を頂いております。)

●ミニグループトークを行いました。

1月25日(日)に開催。元当事者1名を含め12名の参加でした。各々の親の価値観、今までの生き方、環境が様々に違う中からの貴重な意見が聞けました。元当事者の方から子供の立場のお話を聞きつつ進められたこともとても有意義でした。「親にとって不都合な事が起こっても子供を無条件に愛せるのか」という現実を突き付けられている今、子供を通して人間としての生き方を問われているのではないのでしょうか。

🍑 山梨県桃の会 2月例会のご案内 🍑

【日時】 2015年 2月 14日(土)
13:30 ~ 16:30
(※会場準備と打ち合わせは10:30開始。
こちらもぜひご参加ください)

【場所】 **山梨県福祉プラザ** 4F 会議室
甲府市北新 1-2-12

駐車場は台数に限りがありますので、乗り合わせ
または公共交通機関のご利用をお願いします。

【参加費】 家族で1,000円(当事者は無料)

【テーマ】 「快話で快復を」

【講師】 高橋弘子 先生

公立小学校で担任や外国人児童の日本語指導担当。池田佳世 KHJ 代表にカウンセリングを学び、快話練習帳を考案。親の会での学習会講師のほか、自宅で近所の「ばあば」仲間と快話クラブを作り快話練習、英快話練習を楽しみ、孫育ての支援をしている。



ミニグループトークのご案内

親同士のつながりの場です。申し込み不要、無料です。お気軽にご参加ください。

【日時】 2015年 2月 21日(土)
10:00 ~ 12:00

【場所】 山梨県福祉プラザ 4F 第一会議室
(前回とお部屋が違います。)



【山梨県桃の会の運営にぜひご参加・ご協力をお願いします】

月例会当日の10:30~12:00に会場の準備と打ち合わせを行います。

「山梨県桃の会」の運営は、親と当事者自身の手で、力を合わせながら行われています。皆さんと一緒に会を作り上げていきましょう。一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。(昼食は各自でご用意ください。)

*会報を郵送させていただくときに、他団体のチラシを同封する場合があります。ご判断は各自でお願いいたします。

【問い合わせ】 山梨県桃の会会長 篠原博子 TEL・FAX(0554)66-4073、(090)6190-8677